

# 川の中で暮らす生き物を調べてみよう！



## 1 服装・持ち物のチェックと安全確認をしよう

「川の中の生き物をとるときの服装・持ち物」と「安全に川を楽しむために気をつける事」を10～11ページを見ながらチェックします。また、調査する場所や日にち、天気、水の温度などを記録用紙に書き込みましょう。

## 2 川に入って地点を決めよう

水の深さがひざぐらいまでのところで、流れがありこぶしより大きい石がある場所を探しましょう。

## 3 生き物をとろう

決めた地点で流れの下流に網をおいてから、その場所の石をいくつか持ちあげて、バケツの中に入れます。また、石を持ちあげたあとの川の底を足などでかきまぜて、流れてくる生き物を網で受け止めます。



## 4 生き物を分けよう

石の入ったバケツと網を川岸まで持ってきて、底がたいらで浅い入れ物(バット)や白い敷物の上に置きます。ピンセットなどを使ってより分け、他の入れ物に入れます。いろいろな大きさの生き物があるので、よく見て分けましょう。

## 5 記録・判定しよう

調べた生き物を水生生物調査シート(右の表)に記録して、「水のきれいさ」を判定しよう。

- (右表の①) 見つけた指標生物の数を水生生物調査シートに記入します。
- (右表の②) 数が多かった2種類の指標生物に●印を付けます。もし、3種類の指標生物が同じ数の場合には3種類まで●印を付けます。それ以外の指標生物には○印を付けます。
- (右表の③) Iきれいな水・IIややきれいな水・IIIきたない水・IVとてもきたない水の水質階級ごとに、「1」の欄に●印と○印の数の合計を記入します。「2」の欄に●印の数を記入します。「3」の欄に「1」と「2」の欄の数の合計を記入します。「3」の欄の数がいちばん大きい水質階級区分が、この場所の「水のきれいさ」になります。もし二つの水質階級区分で点数が同じになった場合は、よりきれいな水質階級の方をその場所の水質階級とします。

見つけた数↓

判定の例	Iきれいな水		2+1=3
	ナガレトビケラ類	2 ○ (1点)	
	ヒラタカゲロウ類	6 ● (2点)	
	IIややきれいな水		2+1=3
	コオニヤンマ	1 ○ (1点)	
	ヒラタドROMシ類	5 ● (2点)	
	IIIきたない水		1+0=1
	ニホンドロソコエビ	1 ○ (1点)	
	IVとてもきたない水		0+0=0
	(見つからなかった)	0	

きれいな水

2点 1点 3点

ややきれいな水

2点 1点 3点

きたない水

1点 1点

同じ点数の場合は、よりきれいなグループ

○ ○ 橋付近は

**きれいな水** と、なります。

いちばん数が多いから● 次に数が多いから○

## 6 生き物を川にかえそう

調査が終わったら、とった生き物や石は川にもどしましょう。

